

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成25年9月12日 (2013.9.12)

【公表番号】特表2013-501056(P2013-501056A)

【公表日】平成25年1月10日 (2013.1.10)

【年通号数】公開・登録公報2013-002

【出願番号】特願2012-523680(P2012-523680)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/675 (2006.01)  
 C 0 7 F 9/6512 (2006.01)  
 C 0 7 F 9/6524 (2006.01)  
 C 0 7 F 9/6584 (2006.01)  
 A 6 1 K 45/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 31/12 (2006.01)  
 A 6 1 P 35/04 (2006.01)  
 A 6 1 P 35/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 35/02 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/706 (2006.01)  
 A 6 1 K 33/24 (2006.01)  
 A 6 1 K 38/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)  
 A 6 1 K 39/395 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/704 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/662 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/7068 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/282 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/675  
 C 0 7 F 9/6512 C S P  
 C 0 7 F 9/6524  
 C 0 7 F 9/6584  
 A 6 1 K 45/00  
 A 6 1 P 31/12  
 A 6 1 P 35/04  
 A 6 1 P 35/00  
 A 6 1 P 35/02  
 A 6 1 K 31/706  
 A 6 1 K 33/24  
 A 6 1 K 37/02  
 A 6 1 P 43/00 1 2 1  
 A 6 1 K 39/395 U  
 A 6 1 K 31/704  
 A 6 1 K 31/662  
 A 6 1 K 31/7068  
 A 6 1 K 31/282

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月2日 (2013.8.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

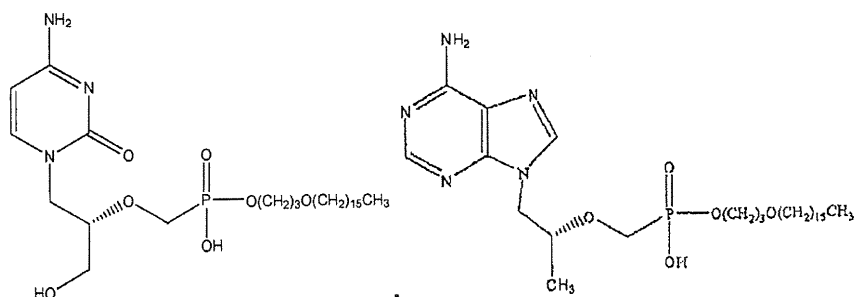
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対象におけるポリオーマウイルス負荷を低減するための薬剤の製造における、

【化 1】



及び、薬学的に許容されるその塩からなる群から選択される化合物の使用であって、

前記化合物が、約 100 mg、約 150 mg、約 200 mg、約 250 mg、約 300 mg または約 400 mg の用量で、前記対象におけるポリオーマウイルス負荷が低減されるように使用される、化合物の使用。

【請求項 2】

前記ポリオーマウイルスが、BK ウイルス、またはジョン・カニンガム (JC) ウイルスである、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3】

前記薬剤が、免疫無防備状態の対象におけるポリオーマウイルス負荷を低減するために用いられる、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 4】

前記免疫無防備状態の対象が、免疫抑制薬治療中の移植患者である、請求項 3 に記載の使用。

【請求項 5】

前記免疫無防備状態の対象が HIV に感染している、請求項 3 に記載の使用。

【請求項 6】

前記化合物が、少なくとも 1 種の免疫抑制剤と組み合わせた投与に適している、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 7】

前記免疫抑制剤が、同時にまたは順次に投与される、請求項 6 に記載の使用。

【請求項 8】

前記免疫抑制剤が、ダクリズマブ、バシリキシマブ、タクロリムス、シロリムス、ミコフェノレート (ナトリウムまたはモフェチルとして)、シクロスポリン A、グルココルチコイド、抗 CD3 モノクローナル抗体 (OKT3)、抗胸腺細胞グロブリン (ATG)、抗 CD52 モノクローナル抗体 (キャンパス 1-H)、アザチオプリン、エベロリムス、ダクチノマイシン、シクロフォスファミド、白金、ニトロソ尿素、メトトレキサート、アザチオプリン、メルカプトプリン、ムロモナブ、IFN ガンマ、インフリキシマブ、エタネルセプト、アダリムマブ、タイサプリ (ナタリズマブ)、フィンゴリモドおよびそれらの組合せからなる群から選択される、請求項 6 に記載の使用。

【請求項 9】

前記化合物が、約 200 mg または約 400 mg の用量で使用される、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 10】

前記化合物が、約 2 0 0 m g の用量で使用される、請求項 1 に記載の使用。